

洞爺湖マラソン 6,423人参加

薫風の洞爺湖を駆け抜ける



スタートを決める小学生2^年、親子2^名

第42回洞爺湖マラソン2016

(室蘭陸上協会、北海道新聞社など主催)が、春本番を迎えた洞爺湖で、5月15日湖畔を舞台に行われました。

フルマラソン4、644人をはじめ、10^{km}1、132人、5^{km}289人、2^{km}(親子含)358人が参加して、自慢の足を競いました。

薄曇りの中8時30分に最初の2^{km}コースがスタート。

続いて、今年から変更となった「わかさいも本舗洞爺湖本店前」の道道からメインのフルマラソン参加者が、虻田中学校吹奏楽部のファンファールの応援を受け、9時30分に湖畔を周回するコースに飛

び出し、9時50分には10^{km}、10時に5^{km}の各参加者が続いてスタートしました。

沿道では、虻田高校の生徒をはじめ、室蘭北斗文化学園や酪農学園大学の学生のほか、町内の様々な団体、企業などが、給水やゴール地点などのボランティアを行い、絶景の洞爺湖を疾走するランナー一人ひとりに、大きな声援を送っていました。

フルマラソン男子は、斉藤太一さん(東京都)が、2時間25分22秒で7連覇、女子は藤沢舞さん(札幌市)が、2時間53分25秒で3連覇を果たしました。大会に先立って、14日に洞



選手に声援を送る給水ボランティア

初参加者の声



▷塩田未菜さん(洞第4・写真右)
「初めて10^{km}に出場して疲れました。洞爺湖を走るのは気持ちいい」

▷納屋 星さん(曙・同左)
「洞爺にお嫁にきたのがきっかけで、初めて走りました。いつかはフルマラソンをめざしたい」



▷中山裕貴さん(環境省洞爺湖レンジャー)
「初めてフルマラソンに参加したが、思った以上にきつかった。5時間は切れなかったけど、完走できたのでよかった」

爺湖文化センターで開かれた前夜祭では、参加者を代表して中山裕貴さん(洞爺湖町)が、力強く選手宣誓を行いました。